

# BURLEY®

バーレー 自転車用ベビーカー  
取扱説明書・事故防止説明書



対応機種  
ハニー・ビー



本書は大切に保管をして下さい。



オンラインで動画マニュアルをご覧いただけます（英語）  
[burley.com/support/video-guides](http://burley.com/support/video-guides)





ALWAYS ORIGINAL. ALWAYS PRESENT. ALWAYS BURLEY.

Since 1978

## 伝統を作る

私達にとって伝統とはライダー、冒険家や探検家を作り出す事です。なぜなら旅の始まりに導くことが私達の仕事だからです。

道を行きながら、地図を見ることを覚え、それぞれの曲がり角に物語があることに気づかされます。丘は筋肉より人を作り出すことを学びます。深く掘り進むうちにもっと高く登れることを知ります。旅や旅で学んだことが、私達を作り出していることに気づきます。今までの経験や情熱が伝統へと変わることを知っているから、旅人を導き続けます。より良い生活の為に前進し続け、過去から学び、誇らしく未来を守ります。冒険に出かけてトレイルを走破すれば世界はひろがって行きます。外では壁や限界に邪魔されること無く、想像した以上に遠くまで行けることを知ります。日々、代々、旅は決して終わりません。物語が広がり続ける限り、記憶はずっと残ります。

## 目次

- 安全上の注意・警告.....3
- 搭載可能な人数・重量.....4
- 内容物を確認する.....5
- バーレーベビーカーの案内.....5
- ベビーカーを広げる.....6
- ベビーカーを折り畳む.....6
- ホイールの取り付け.....7
- ホイールガードの取り付け.....7
- けん引バーを取り付ける.....8
- けん引バーを外す.....8
- 手押し用ベビーカーモードに設定する.....9
- ハンドルストラップを取り付ける.....9
- けん引モードに設定する.....9
- パーキングブレーキを設定する.....10
- ハンドルバーを調整する.....10
- カバーとフラッグを取り付ける.....11
- 追加のライトの設置.....11
- お子様を安全に乗り降りさせる.....12
- ベビーカーを自転車に取り付ける.....13
- お使いになる前に.....14
- お手入れをする.....15
- 布のお手入れ.....15
- 保管の注意.....15
- 保証規定.....15

## 重要

バーレー自転車用ベビーカーをご使用になる前に、必ずこの説明書をお読み下さい。ご質問・詳細な情報は最寄りのバーレー販売店にご連絡下さい。バーレーWEBページでもサポート情報をご覧いただけます。  
[www.riteway-jp.com/burley/](http://www.riteway-jp.com/burley/)

## 安全上の注意・警告



**警告** 人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています

- お子様を乗車させたままベビーカーを離れないでください
- ご使用になる前に、すべてのロック装置が作動していることを確認してください
- 怪我を防ぐために、本製品を広げたり折りたたんだりする際は、お子様から離れた場所で作業してください
- このシートユニットは、6ヶ月未満のお子様には適していません。
- 乗車する際は必ずシートベルトを装着してください
- 自動車用のシートを搭載しないでください
- 二人乗りベビーカーに1名のみ乗車する場合は、進行方向に対して右側の座席に乗車してください
- シートユニット、またはチャイルドシート取り付け装置が正しく取り付けられていることを確認してください
- 指・衣類・おもちゃ・靴紐などがホイールのスポークに巻き込まれないように注意してください
- 暑い夏や寒い冬はキャビンの気温とお子様の状態を頻繁に確認してください
- 本製品の上に、荷物や付属品を置くことはおやめください。故障の原因になります
- 車体が不安定になるため、ハンドルや背もたれ、側面に荷重をかけることはおやめください
- ご使用になる前に、本体、シートユニットまたはチャイルドシートの取り付け装置が正しく作動していることを確認してください。
- 本製品は、ランニングやスケートの使用には適していません
- ベビーカーとして使用する場合は、常に荷重とコントロールを維持できるように歩くことを想定した道でのみ使用し、急な坂道では使用しないでください。
- お子様が室内にいるときに、階段やその他の障害物を乗り越えないでください
- オプションパーツを取り付ける場合は、バーレー純正品のみを使用して

ください。アクセサリキットに同梱されているすべての警告と説明書を必ずお読みになり、それに従ってください。

- お子様を本製品で遊ばせないでください
- 最大荷重、乗車定員を越えて利用しないでください
- 改造をしないでください

### 自転車けん引用ベビーカーとして使用する場合

- 自転車整備士による牽引の安全確認を行った後、ご利用いただくことをおすすめいたします
- ご利用の前に、本製品が自転車のブレーキ・ペダル・ハンドル等に干渉していないことを確認してください
- タイヤの空気圧は適正に保つようにしてください。パンク・怪我の原因になります
- バックミラーを自転車に取り付けることを推奨します
- 歩道の走行はできません。公道を走行時は法律および各地の条例に従ってください
- 本製品をけん引することで、法律で定められた普通自転車ではなくなり、軽車両として扱われます。そのため、「自転車通行可」とされている場所の走行もできません。
- ライトが不十分な状態で夜間走行をしないでください
- 本製品についている反射板が常に見える状態でご利用ください
- お子様の様子や本製品の様子を確認するために停車する場合、必ず道路の端に寄せてください
- けん引時には負荷がかかるため、自転車単独での走行時よりも反応が鈍くなります
- 急カーブ・急ブレーキは避けてください

## 搭載可能な人数・重量

最大積載量

公称荷重

お子様1名または2名+荷物 45 kgまで

自転車ベビーカー総重量(車体+荷重)

57 kg

乗車可能なお子様

最大体重 : 18キロ

最大身長(ヘルメット無しの状態) : 105cm

最低年齢(自転車けん引時) : 12ヶ月

(手押しベビーカー使用時) : 6ヶ月\*。

\*バーレー純正のアクセサリーを使用していない場合

積載物重量制限の法律および各地の条例に従ってください

- 運転に慣れるまでは、安全が確保された広い場所でよく練習してください
- 障害物は避けて通ってください。本製品が乗り上げてしまった場合、転倒する恐れがあります
- 天候・交通状況・路面の状況が本製品に適していることを確認の上でご利用ください
- 本製品のご利用推奨気温は-7度から38度です
- 乗車するには、ひとりでまっすぐに座れること、首が座っていることが必要です。乗車して良いかどうかの判断は、小児科医にご相談ください
- 走行中はゴミやホコリをさけるためにカバーを閉じてください
- 16歳以上の方が牽引をしてください
- 乗車するお子様には安全基準を満たしたヘルメットを着用させてください
- 本製品は自転車でのけん引専用設計されています。オートバイや自動車でのけん引は絶対におやめください
- 推奨する最高速度  
なめらかでまっすぐな道の場合 時速24km  
カーブ、でこぼこ道 時速8km(歩くより少し早い程度)  
交差点 徐行(いつでも止まれる速度)

### 負荷荷重の配分と走行

安全な走行のためには適切な負荷荷重の配分が必要です。自転車と接続する牽引バー先端部の垂直荷重が1kgから9kgの間が適切な負荷荷重の配分です

### 負荷荷重計測の方法

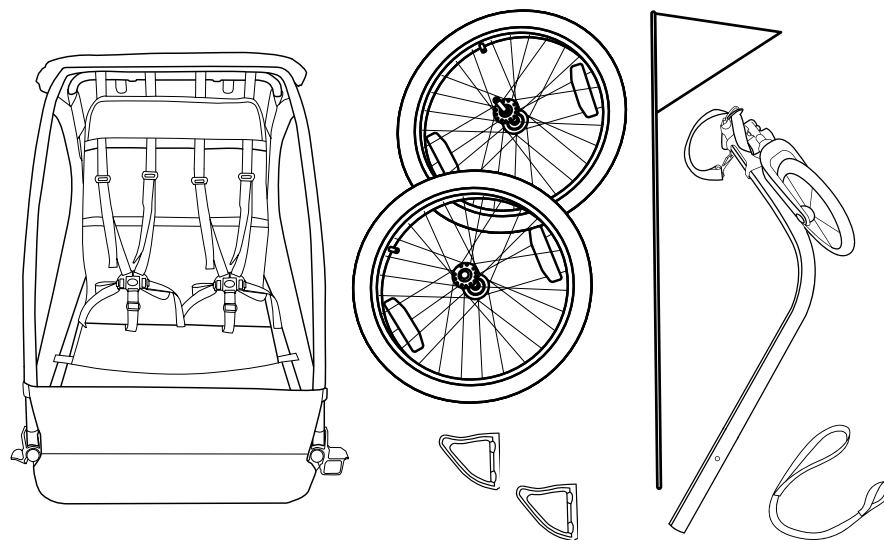
1. 体重計を用意します
2. 体重計で計測を行う方の体重を量ります(A)
3. 牽引バー先端部を地上から30cmまで持ち上げて、計測を行う方の体重を量ります(B)
4. (B)から(A)を引いた重量が、垂直荷重です
5. 数値が低すぎる場合、自転車のタイヤが空回りして進めなくなる場合があります
6. 数値が大きすぎる場合、取り付け金具及び自転車への負荷が大きくなりすぎます
7. 適正な範囲にない場合、荷物の搭載場所を前後に動かして調整してください

## 内容物を確認する

- トレーラー本体×1
- フラッグ×1
- タイヤつきホイール×2
- 牽引アーム×1 (1輪ベビーカーキット&ヒッチ付き)
- ホイールガード×2
- ハンドルストラップ×1
- 取扱説明書

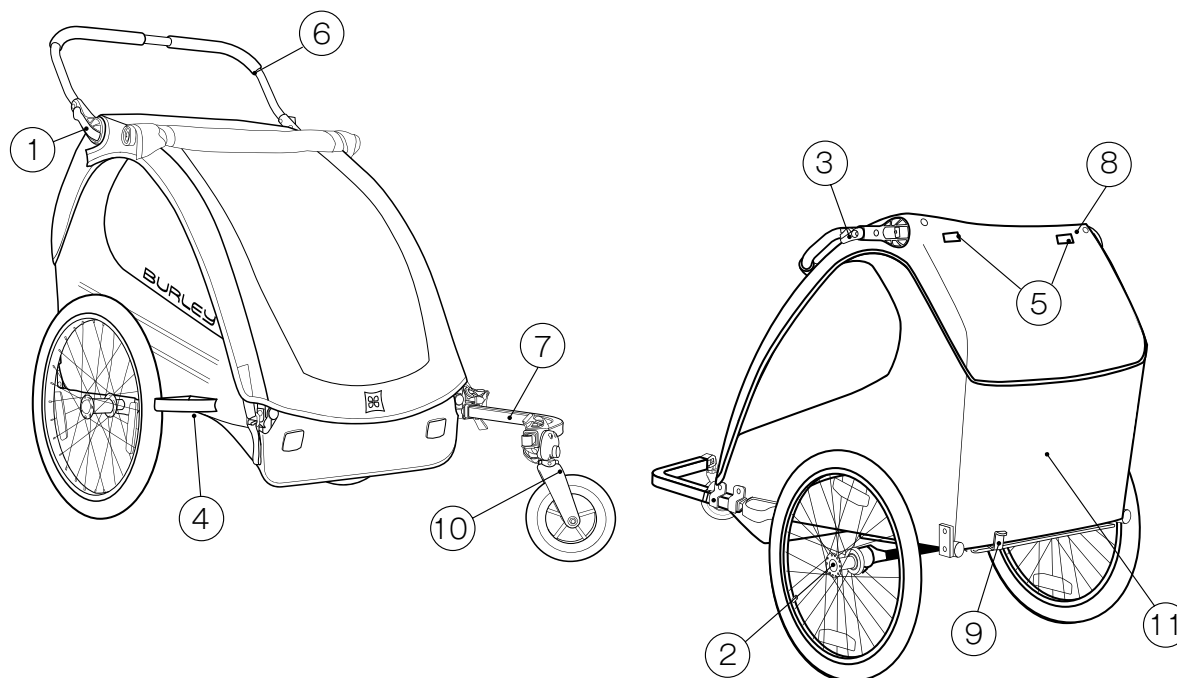
必要な工具

5mm六角レンチ (付属)



## バーレーベビーカーの案内

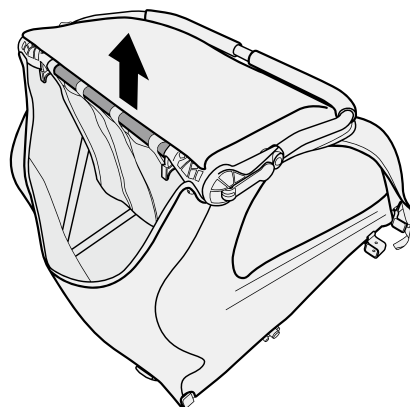
1. ハンドルバーレバー
2. タイヤ付きホイール (プッシュ取り外し式)
3. フラッグ取り付け穴
4. ホイールガイド
5. ライト用ループ
6. 手押しハンドル兼ロールバー
7. けん引バー
8. フレームラッチ (カバーの内側にあります)
9. 停車時用ブレーキレバー
10. 1輪ベビーカーキット
11. ベビーカーモデル記載場所



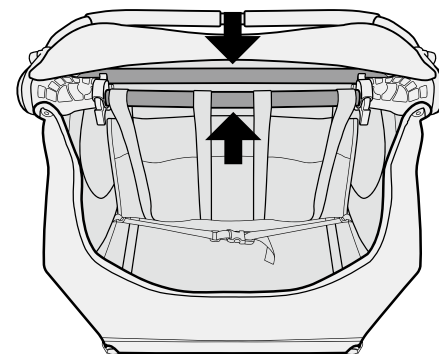
## ベビーカーを広げる

1. アッパーフレームを後方から持ち上げます(図1)
2. シートに手を入れ、リアフレームチューブをつかみます(図2)
3. 所定の位置でかちっと音が鳴るまで、フレームチューブをにぎりま  
す(図3)

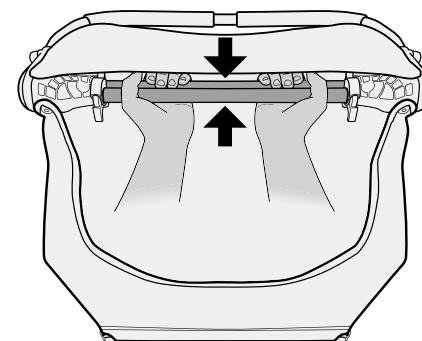
※新品の時は幌が伸びていないので掛け金具がロックしにくい場合があります。その場合は突っ張っている幌を伸ばしつつ再度ロックを試してみてください。ロックを何度か行くと幌が馴染んでロックしやすくなります。



(図 1)



(図 2)

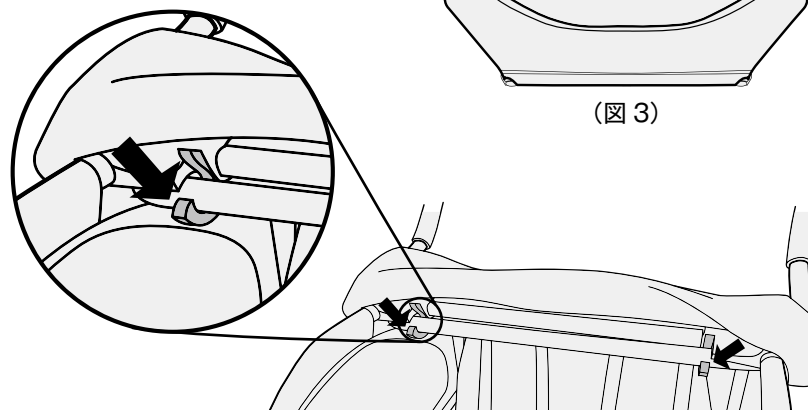


(図 3)

## ベビーカーを折り畳む

1. 荷物とお子様を下ろし、けん引バーとホイールを取り外します。ホイール中央のボタンを押すと簡単に外れます
2. トレーラーの前部からカバーを持ち上げ、カバーの下の黄色の掛け金を押して、フレームチューブを解除します(図4)
3. フレームを平らに折り畳みます

注: ホイールを装着した状態でベビーカーが折り畳まれている場合、窓の損傷が発生する可能性があります。



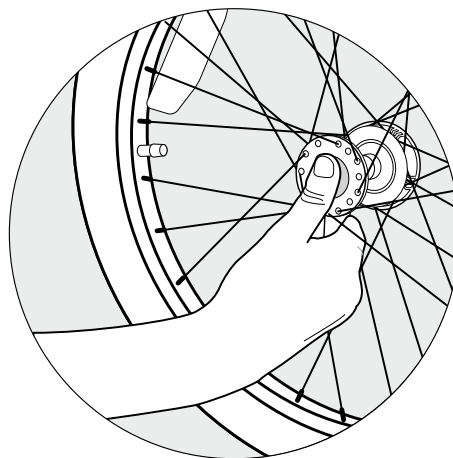
(図 5)



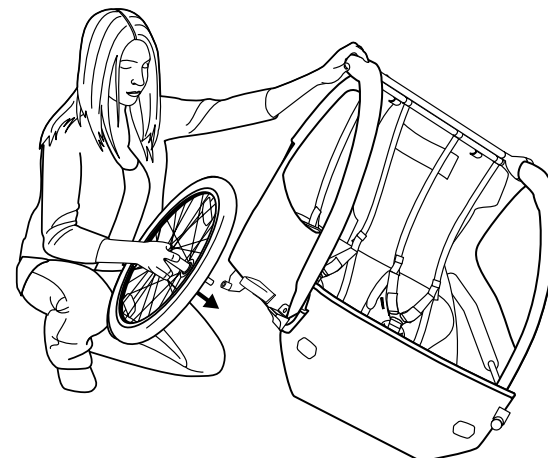
**警告** 折りたたんだり、展開したりする際には、指を巻き込まないようにご注意ください

## ホイールの取り付け

1. ホイールハブの外側にあるゴムボタンを押します (図 5)
2. ホイール車軸を本体車軸穴に挿してボタンを離します (図 6) ホイールを引っ張って、確実に固定されていることを確認します。



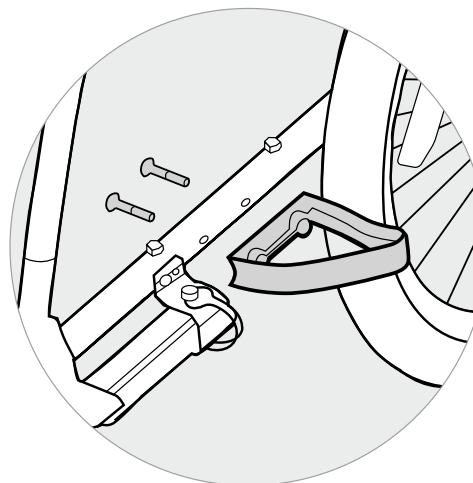
(図 5)



(図 6)

## ホイールガードの取り付け

1. フレームチューブにホイールガードボルトを挿入し、ホイールガードの穴をボルトに合わせてネジ止めします。六角レンチでしっかりと締め付けます。  
(図 7)
2. 反対側も同じ手順で取り付けます。



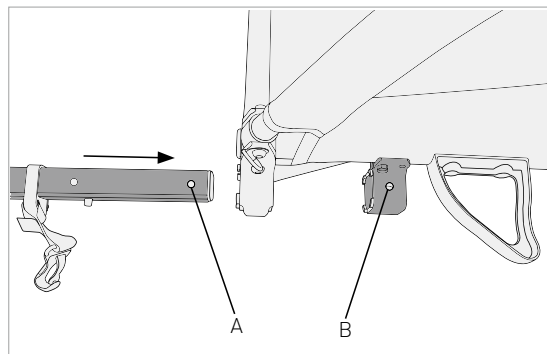
(図 7)

## けん引バーを取り付ける

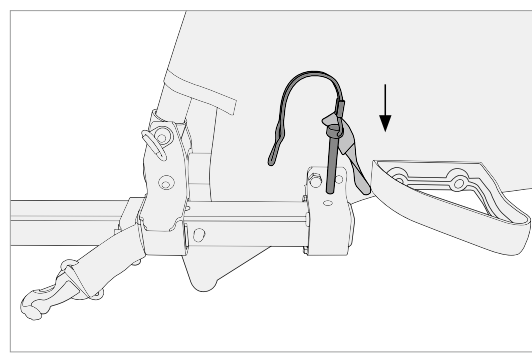
1. Aの穴とBの穴が重なるまで、けん引バーを差し込みます (図8)  
赤いセーフティカラーがけん引バー挿入口と同じ高さになっていることを確認してください
2. 固定用ピンを上から合わせた穴に挿入します (図 9)
3. 固定用ピンが図のように正しくロックされていることを確認してください (図10)
4. 安全ストラップを本体の D リングに固定します (図 11)

## けん引バーを外す

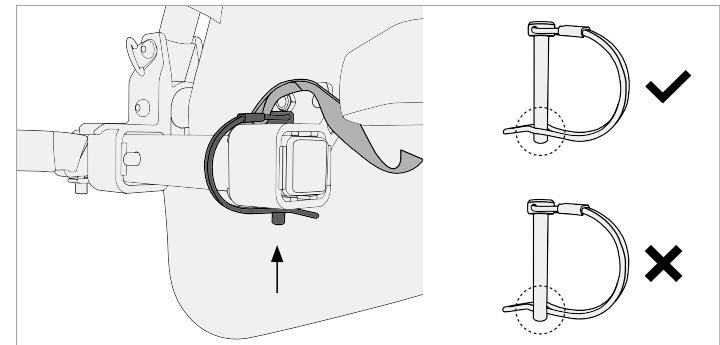
1. 保持ピンを外し、安全ストラップを外します。
2. けん引バーの戻り止めを押し下げ、けん引バーを取り外します。



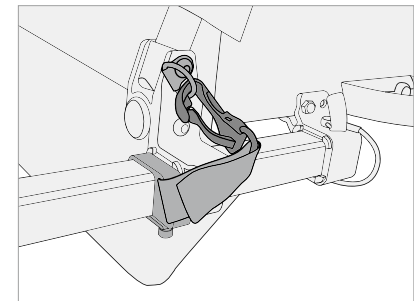
(図 8)



(図 9)



(図 10)

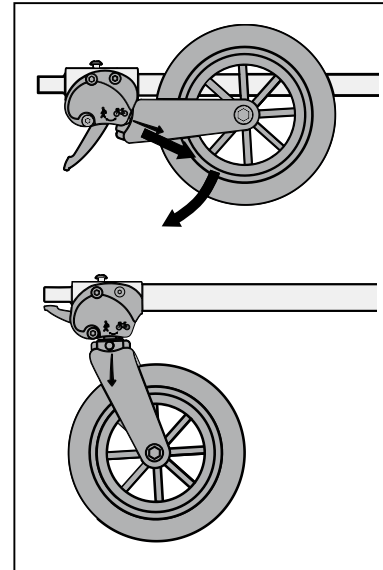


(図 11)



## 手押し用ベビーカーモードに設定する

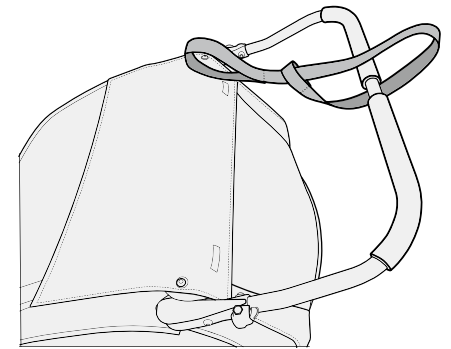
フォークを図 12 のように引き、ホイールを完全に回転させます。フォークは自動的にロックされた位置に固定されます。



(図 12)

## ハンドルストラップを取り付ける

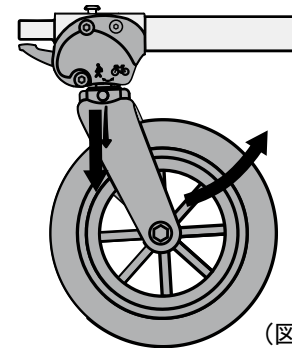
ハンドルストラップをハンドルバーの中心に巻きつけ、端を反対側のループに通し、しっかりと締め付けます(図13)



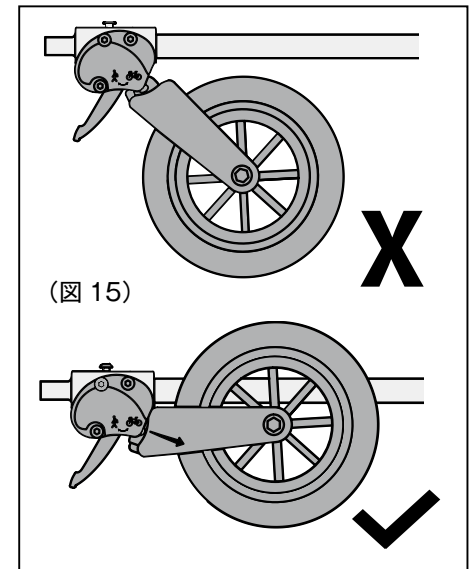
(図 13)

## けん引モードに設定する

フォークを下に引き (図 14)、図のようにけん引モード用に回転させます。フォークが正しい位置にあると、自動的にけん引モードの位置にロックされます (図 15)。



(図 14)



(図 15)

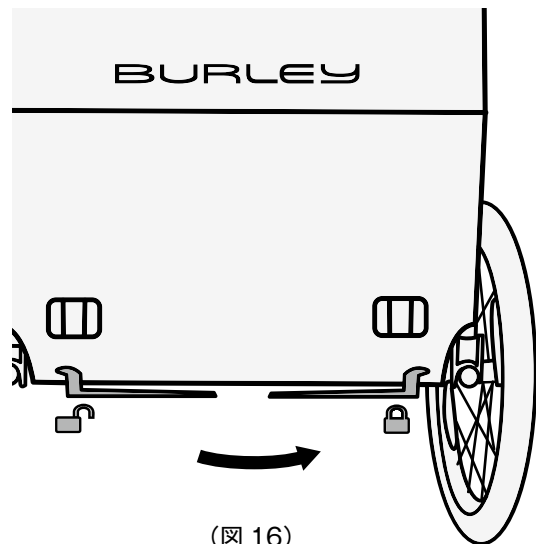


### 警告

けん引モードでは、ベビーカーモードで使用する車輪は常時折りたたんだ状態にします  
けん引走行前にベビーカーモードの車輪を折りたたんでいない場合、事故や重大な怪我、  
死亡事故につながる可能性があります。

## パーキングブレーキを設定する

1. (図16)ブレーキをかけるには、レバーを右にスライドさせます。ブレーキを解除するにはレバーを左にスライドさせます。



(図 16)

## ハンドルバーを調整する

1. 自転車でけん引する場合

常にハンドルバーを前方にセットします。万一の転倒時にロールバーとして働きます (図 17A)

ハンドルバーは地面と平行になるように、ハンドルバーのマークがカバーを取り付けるボルトと一直線になるようにしてください。(図18)。

2. 手押し・ジョギングで用いる場合

手押し・ジョギングでご使用する場合、ハンドルバーを回転し、持ち手として使用します (図 17B)

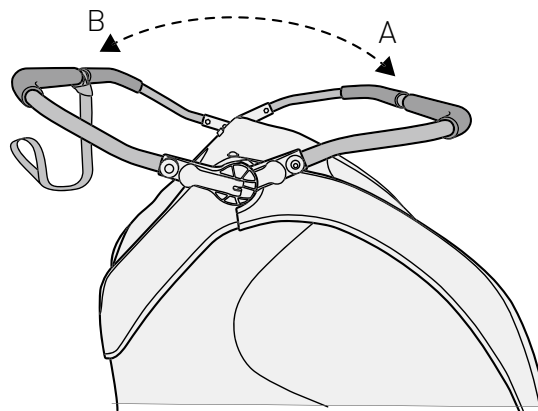
レバーを開いて回転させ (図 18)、レバーを閉じて固定します。

注意事項：手押し式ベビーカーとして使用する場合は、必ずハンドストラップを使用してください。

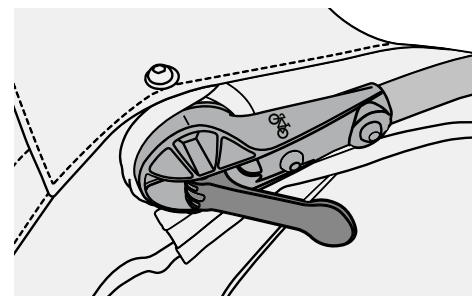
ハンドルバーレバーのテンションは工場最適に調整されています。

もしハンドルバーを上下させたときに滑ってしまう時や、回転時の過度のノイズが生じた場合、レバーの張力は、反対側のハンドルバーカバーを取り外すことで微調整できます。

レバーを押して離し、外側枠を一緒に絞って ナットを 180 度ずつ回し、適度な張力に調整してください。その後、ハンドルバーカバーを再度取り付けます。



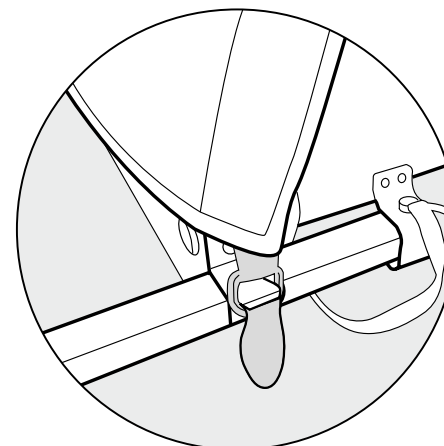
(図 17)



(図 18)

## カバーとフラッグを取り付ける

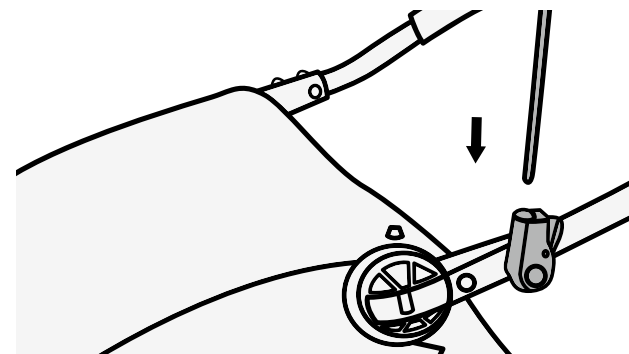
1. カバーのDリングをけん引バー台座にある出っ張った部分に引っ掛けます。  
(図 19)
2. フラッグホルダーの穴にフラッグポールを差し込んでください。解除するには、ボタンを押してフラッグポールを持ち上げます (図 20)



(図 19)

## 追加のライトの設置

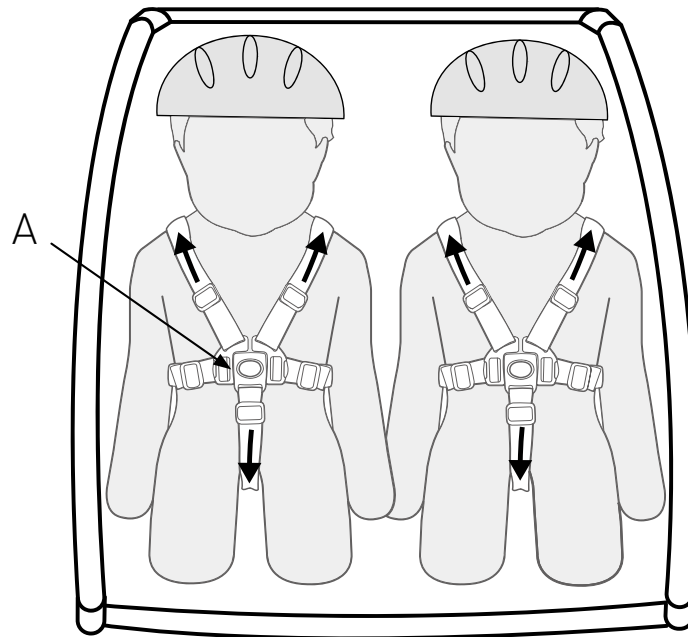
布製のループはバッグの背面にあり、追加のライトやリフレクターを取り付けるために使用してください



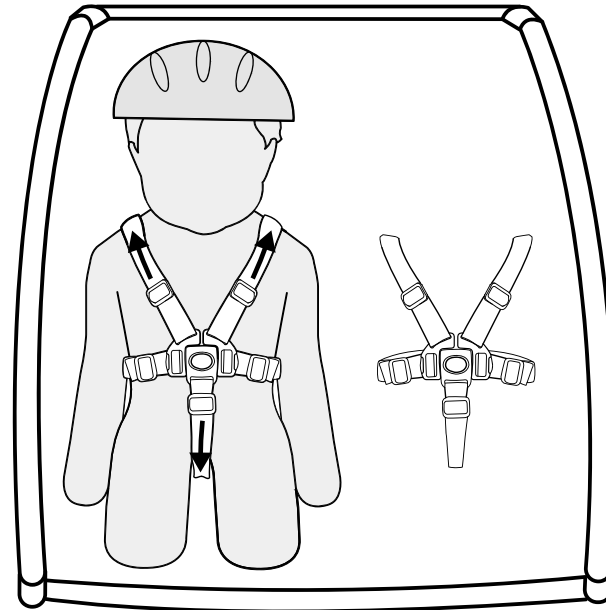
(図 20)

## お子様を安全に乗り降りさせる

1. お子様をベビーカーに乗せたり、降ろしたりする前に、パーキングブレーキをかけます。お子様の乗車後、シートベルトを固定し、ショルダーストラップとウエストストラップをハーネスバックルに差し込み、きちんと固定されるまで調節します(図21)
2. お子様を下ろす際には、黄色のリリースボタンを押し、シートベルトを外します(図21a)
3. 二人乗りトレーラーにお子様一人を乗せる場合、シートの右側に乗せます(図22)



(図 21)



(図 22)



### 警告

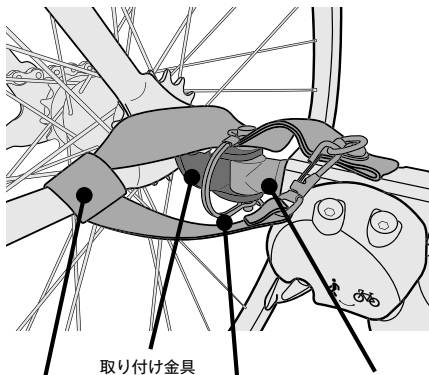
転倒や滑り出しによる大怪我を避けるため、必ず5点式ハーネスを使用してください。

# ベビーカーを自転車に取り付ける

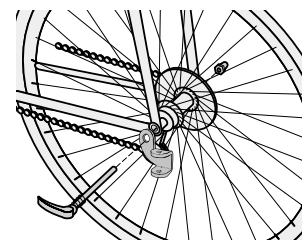
## 取り付け金具(ヒッチ)を自転車に取り付ける方法

### クイックリリースまたはナットの場合

1. クイックリリースまたは自転車後輪の車軸左側にあるナットを外します。
2. 取り付け金具をクイックリリースまたはナットとフレームの間に取り付けます。(図 23)
3. クイックリリースまたはナットを製造者が推奨する数値で固定します。
4. 取り付け金具はベビーカーを外しても付けたままにできます。



セーフティストラップ 固定用ピン フレックスコネクター



(図 23)



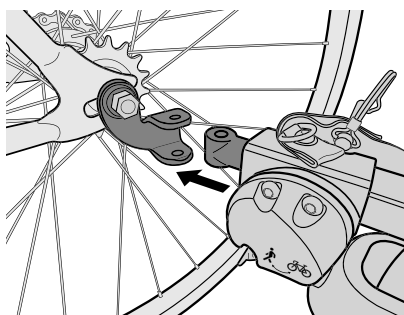
(図 24)

### スルーアクスルの場合

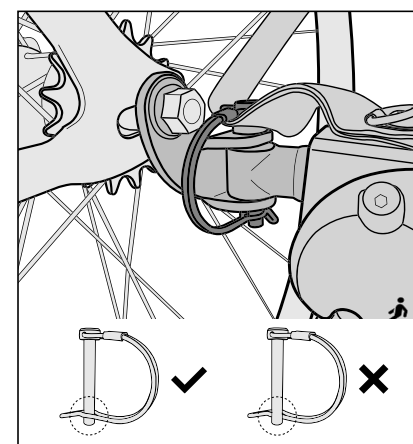
オプションパーツのWebサイトをご確認頂き、ご使用のバイクに適合するアクスルと取付方法を確認してください(図 24)

## けん引バーを取り付け金具に連結する方法

1. フレックスコネクターを取り付け金具の2つの穴の間に挿入します。(図 25)
2. 固定ピンを差し込み、C型金具を取り付け金具の下側に挟み込んで固定します。(図 26)
3. 自転車のフレームにセーフティストラップを2回巻きつけます。
4. けん引バーのDリングを掛け金に通して止めてください。(図 27)



(図 25)



(図 26)

## けん引バーを外す方法

Dリングから安全ストラップを外し、自転車のフレームからも外します。  
C型金具を外し、固定ピンを外します。次に取付金具からフレックスコネクターを取り外します。



(図 27)

## お使いになる前に

### ご利用ごとに次の項目をチェックしてください

1. ホイールがベビーカーにきちんと取り付けられている
2. タイヤの空気が適正である
3. けん引バーがベビーカーにきちんと取り付けられている
4. 取り付け金具が自転車にきちんと固定されている
5. 取り付け金具とけん引バーがピンで固定されている
6. けん引バー取付け部に固定ピンが取り付けられ、ストラップを装着してある
7. 積載重量が45Kgを超えていない
8. けん引バーの荷重が適切(1kg以上9kg以下)である
9. 自転車の動作が通常である。特にブレーキとタイヤが問題なく作動する
10. お子様にヘルメットを着用させている
11. セーフティフラッグが所定の位置に取り付けられている
12. お子様にシートベルトをきちんと取り付けている
13. カバーは取り付けられ閉じられている
14. 走行状況に合わせたライトを装着している
15. ハンドルバーが正しい位置にある
16. 自転車に乗る前にパーキングブレーキが解除されていることを確認する

### 1ヶ月ごとに次の項目をチェックしてください

1. けん引バー、取り付け金具、フレームのチューブ、フレックスコネクター及び本体の損傷を点検してください  
—安全な操作のため、3-5年ごとにフレックスコネクターのメンテナンスが必要です
2. ボルトがきちんと固定されている事を確認してください
3. タイヤとホイールの摩耗及び割れを目視してください
4. ホイールのゆがみと割れを点検してください
5. 繊維部分の破れ、剥落、脱落、または本体の損傷を確認してください

損傷や摩耗した部品の交換については、バーレー正規販売店にお問い合わせください。

## お手入れをする

トレーラーの清掃  
リクライニングやクイックなどのコンポーネント レシーバーは時々点検して ゴミ  
やほこりが溜まらないように清掃してください。  
部品が完全に乾いていることを確認してから 収納すること

## 布のお手入れ

布地の部分は、ぬるま湯と中性石鹼で手洗いしてください。  
漂白剤または溶剤は使わないでください  
トレーラーカバーは日陰で干します  
から拭きしてから直射日光の当たらない乾燥した換気の良い場所で保管します  
窓は湿らせた柔らかい布で拭きます

## 保管の注意

製品を長くお使いいただくために、トレーラーは屋内で保管してください  
トレーラーを屋外で保管する場合、バーリー保管用カバーでトレーラーを保護して  
ください  
-23℃以下または65℃以上の温度になる場所での保管はおやめください  
タイヤを窓の近くで保管すると窓の退色が発生する原因となります

## 保証規定

ライトウェイプロダクツ ジャパン株式会社(以下当社)が取り扱うバーレー自転車用  
ペーカ、トレーラーおよびその付属品は、購入日から1年間において材料及び  
構造上の欠陥に対して保証します。保証を受けていただくには販売店の発行するレ  
シートまたは領収書が必要です。

この保証は日本国内での購入・利用に関してのみ有効です。

保証期間中に材料または構造上の欠陥が発見された場合、修理または交換をいたし  
ます。

保証は日本国内での利用においてのみ有効です。

保証は本製品の最初の購入者のみに有効です。譲渡された場合には保証は継続され  
ません。

保証はご購入者ご本人の個人的利用においてのみ有効です。レンタルおよび業務利  
用時については保証は適用されません。バーレーおよび当社は商業的損害に関して  
一切の責任を負いません。

保証は製品を適切にご利用頂いた場合にのみ有効です。不適切な利用、改造、事  
故、および通常利用時の消耗に関しては保証は適用されません。

本製品の明示または黙示保証の範囲は、唯一の選択肢としてここで指定された修理  
または交換に限定されます。いかなる場合においても、特別損害・偶発的損害・派  
生的損害に対する責任は明示的に排除されます。

# BURLEY®

burley.com

## バーレーとつながりましょう

いつでも自転車に乗っている方、天気の良い日にだけ自転車に乗る方、  
いろいろな方とバーレーは情熱を共有したいと考えています

日本国内代理店

地球を楽しくしたい

**RITWAY®**  
PRODUCTS JAPAN

ライトウェイプロダクツジャパン株式会社  
〒171-0022 東京都豊島区南池袋3-18-34 池袋シティハイツ102  
TEL.03-5950-6002 FAX.03-5956-8028

riteway-jp.com